



情報・システム研究機構年度報告会ISSI2013(2014/02/05)
セッション8「情報循環の加速」

価値創生プロセス実践知開発ネットワーク
:Wisdom Network of Practical Knowledge
for Value Creation Process(略称:VCP-Net)
趣旨、活動の経過

2014年2月5日

VCP-Net 委員会

委員長:椿 広計

(情報・システム研究機構 統計数理研究所副所長・データ科学研究系教授)

委員:林 利弘

(林技術士事務所、情報・システム研究機構研究員)



「価値創生プロセス実践知開発ネットワーク(VCP-Net)」 活動立上げの趣旨：“スローガンより活動”がスローガン

- 現状認識
 - モノづくり分野での進歩・変革・再生のための知識とスローガンの氾濫
 - 多様な手法や技法に関する知識の累積が進行
 - 1990年頃まで盛んであった智恵の開示は「知財の壁」で終焉
- 疑問
 - 問題(価値のあるコト)の発見・解決への寄与は如何？
- 提案
 - **知識の効果的活用のための知恵を蓄積・共有・自律的發展**
 - 意欲のある技術者・研究者・行政のネットワークを形成
- 活動：**Wikipedia的方法で「知恵ベース」を進化させる**
 - ネットワーク内の自由な意見交換
 - 技術や製品の価値を高めるための**手法・技法適用のプロセス**
についての知恵を一定の形式で集積し、**知恵の基盤DB**を作成
 - 産官学が使える公共的知的財産に育成



これまでの活動・成果

- ◆ 2010年10月～
 - ◇ 価値創生プロセス実践知開発ネットワーク研究会
 - ◇ 日本規格協会主催の産学共同研究会
- ◆ 産業界を中心に手法や技法を戦術としてではなく、戦略の中に位置づける知恵
 - ◇ 問題の発見、問題解決を支援する手法や技法の特徴を簡潔に記述する方法
 - ◇ 手法群が典型的な実務上の問題解決プロセスの中でどう融合されて、コトに当たれるのか。
- ◆ 2012年9月
 - ◇ 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構、新領域融合研究センターデータ中心リサーチcommons事業立ち上げ準備費の支援
 - ◇ 研究活動をSNS上に展開する仕組みの構築
- ◆ 2013年5月 VCP-Netキックオフシンポジウム開催
- ◆ 2013年7月 VCP-NET: SNSの立ち上げ、テスト運用開始
- ◆ 2013年9月 COI STREAM 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業
サイバー・フィジカル融合Crowdsourcingプラットフォーム・
デザイン (CPcS-PF) プロジェクト で活動内容・成果紹介



VCP-NET立ち上げメンバー (五十音順)

- 主査：椿広計
(統計数理研究所)
- 委員
- 大藤正(玉川大学)
- 大脇隆志(日立製作所)
- 川崎浩一
(富士ゼロックス情報システム)
- 河村敏彦
(統計数理研究所)
- 木内正光(城西大学)
- 救仁郷誠(富士ゼロックス)
- 黒河英俊(アルプス電気)
- 郷保直(郷ビズネシヨウ)
- 永井一志(玉川大学)
- 林利弘
(林技術士事務所代表,
元 日立製作所)
- 福澤光啓(成蹊大学)
- 正木敏明(日東電工)
- 吉澤正孝
(クオリティープスマーツ. 元富
士ゼロックス)



VCP-net活動の全体像

